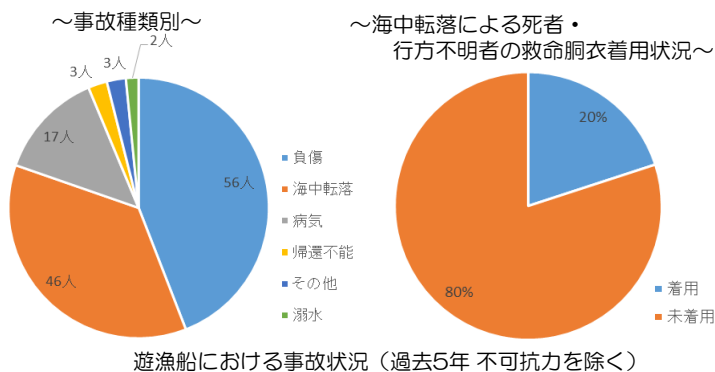
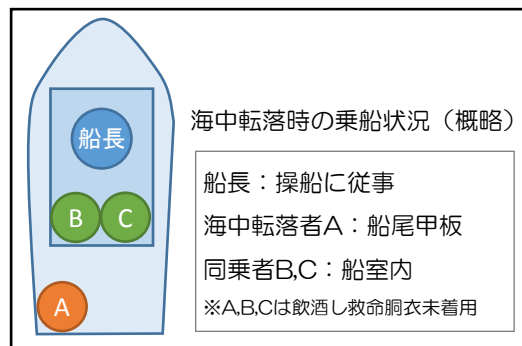


遊漁客の安全に対する注意喚起

事故事例

遊漁船K丸に乗船し遊漁を終え帰港中、遊漁客3名（救命胴衣未着用）のうち1名が海中転落し行方不明となりました。

事故者を含む、遊漁客は遊漁中飲酒をしており、遊漁船船長及び同乗者は、入港するまで事故者の海中転落に気付きませんでした。



遊漁客の事故の特徴

- 【事故種類】「負傷」、遊漁船や磯等からの「海中転落」が多数
- 【事故時の状況】船体の「動揺」、遊漁船、磯等への「移乗時」等
- 【救命胴衣】海中転落による死者・行方不明者の8割が未着用

遊漁客の安全のために

● 「飲酒」状況の確認



- 乗船前、乗船中の「飲酒」について確認しましょう
- 乗船中の「飲酒」は、運動能力の低下、平衡感覚の乱れ等に繋がり危険です

● 遊漁客の動静確認



- 遊漁中、航行中ともに動静に注意しましょう
- 特に飲酒者に対しては、海中転落・怪我等防止に注意しましょう
- 遊漁中の危険要因（移乗時、船体動揺等）について、事前に周知するとともに、危険が予想される前に一声かけましょう

● 救命胴衣の着用



- 海中転落に備え、「救命胴衣」の着用を促しましょう
- 磯釣りでも波等により海中転落の危険があります

事故防止のため航行中、遊漁中を問わず「適切な見張り」を実施しましょう